

# 成功の歴史

## 1972年に開催した“札幌冬季オリンピック”がもたらしたものの

数々の競技場のほか、選手村だった真駒内団地や、地下鉄、地下街——。オリンピックがまちに残した多くの財産は、今も市民の生活に重要な役割を果たしています。

サッポロ

### “Sapporo”の名が一躍世界へ

アジア初の冬季オリンピック開催は、札幌の名声を世界中に広め、都市の国際化に大きく貢献しました。また、競技施設が充実したことで、スキージャンプの世界大会が開かれるなど、冬季スポーツの拠点としての地位を築きました。

きっかけ

### 近代都市へと変貌する“契機”に

北海道で初となる高速道路「道央自動車道」と「札幌自動車道」の一部が開通したほか、オリンピックの開会式・閉会式が行われた真駒内地域と都心を結ぶ「地下鉄南北線」も開業。地下街も整備されました。



《写真》札幌オリンピック開会式の様子（提供：アフロ）

▲市民の協力によるスムーズな大会運営は世界から高い評価を受けた



札幌市公文書館所蔵

▲世界的にもまれな積雪都市である札幌の交通を飛躍的に向上させた地下鉄南北線の開通（1971年）



札幌市公文書館所蔵

▲天候に左右されずに買い物などが楽しめる地下街「ポールタウン」と「オーロラタウン」がオープン（1971年）

### 開催データ

会期 昭和47年2月3日～13日の11日間  
競技数 6競技35種目 会場数 14会場  
参加国数 35カ国 選手・役員数 1,655人  
関連施設整備費 約2,000億円（高速道路、地下鉄含む） 大会運営費 約81億円

参考 昭和47年の市職員（大卒）の初任給は49,300円、市の一般会計予算は約736億円



写真提供：アフロ

▲日本ジャンプ陣のメダル独占は今も語り継がれる伝説

### 体験者に聞く

### 札幌で暮らす喜びや誇りを感じた



札幌冬季オリンピックで競技運営などに携わった  
こいわ いさむ  
小岩 勇 さん

分厚い氷の塊を手作業で貼りつけるボブスレーコース作りを、多くの市民の方と一緒に行いました。皆さん、地元での大会を成功させたいという思いが強く、凍てつくような寒さの中でも笑顔で取り組んでいたことは忘れられません。札幌冬季オリンピックは、我々市民に“北国で暮らすことの喜びや誇り”を培うきっかけを与えてくれたと感じています。

### 今に受け継ぐ 環境に優しい暖房システム

選手村となっていた真駒内地区や、都心部の多くのビルでは、共通の熱供給設備から配管を通じて暖房を行う効率的なシステムを取り入れられました。現在は清掃工場の排熱も有効利用されており、開催当時の環境への思いが今に息づいています。



▲駒岡清掃工場から出る排熱を活用している真駒内地区